

令和3（2021）年12月

軽自動車新車販売速報

令和4（2022）年1月5日

一般社団法人 全国軽自動車協会連合会

全国軽自動車協会連合会（会長：赤間俊一、略称：全軽自協）の調べによる令和3（2021）年12月の軽自動車新車販売台数（新車新規検査台数、トレーラー等を除くナンバーベース）は、全体で117,660台、前年同月比13.6%減となり、7か月連続のマイナスとなりました。

車種別では、乗用車が88,842台で前年同月比15.0%減（7か月連続減）、貨物車が28,818台で同8.9%減（6か月連続減）。貨物車の内訳は、ボンネットバンが3,116台で前年同月比0.8%増（5か月ぶり増）、キャブオーバーバンが14,104台で同3.0%増（4か月ぶり増）、トラックが11,598台で同21.9%減（7か月連続減）となっています。

この結果、令和3（2021）年の年間新車販売台数は1,652,522台、前年比3.8%減となり、3年連続のマイナスとなりました。

年間販売台数の内訳は、乗用車が1,275,836台、前年比4.2%減（3年連続減）、貨物車は376,686台で同2.6%減（2年連続減）。貨物車の内訳は、ボンネットバン28,962台で同22.4%減（2年連続減）、キャブオーバーバン182,851台で同4.8%増（3年ぶり増）、トラック164,873台で同5.9%減（3年連続減）となっています。